ORIRO

FIRE ESCAPER MATSUMOTO

ORIRO緩降機

取扱説明書

緩降機とは降下速度を一定の範囲に調整されたもので、使用者が他人の力を借りずに自重で降下でき、つるべ式に一人ずつ交互に何人でも安全に避難できる避難器具です。

国家検定合格品
総務大臣型式承認番号
降第10～1号
降第22～1号

MATSUMOTO KIKO CO.,LTD.

ORIRO 緩降機

■正しい使用方法

下記の手順で正しい操作を行ってください。

1 緩降機の側面に付いているラッチ錠を外し上蓋を開けてください。

※屋外の本機屋外 BOX に収納されている場合は、そこから取り出し上記の操作を行ってください。

2 フックを持ち、調速器とリールを合わせて取り出してください。

3 取付金具に緩降機を取付ける。安全環（止め金具）の付いている部分に指を掛け内側に曲げ口を開け、取付金具アーム先端の吊環に掛けてください。
指を離すと内蔵されているスプリングの力で、元に戻ります。安全環を右に回して、締めてください。

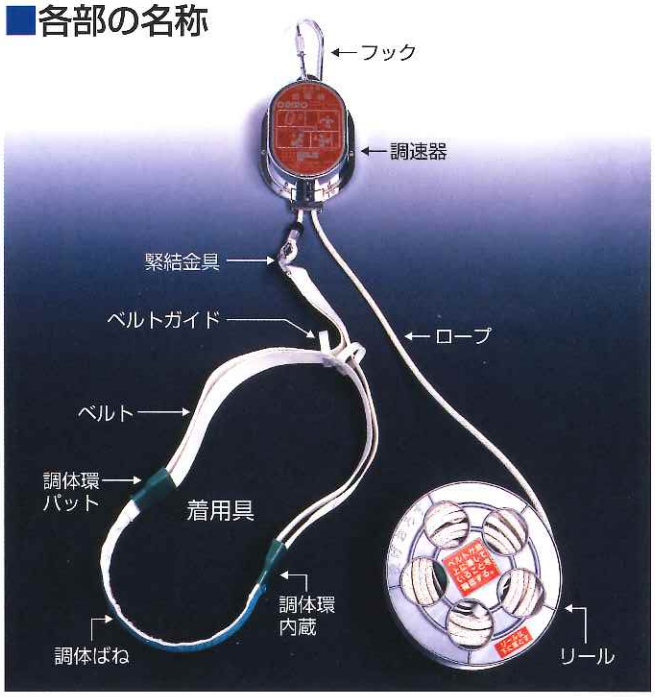
注意 吊環に掛ける時、指を挟まないようご注意ください。

危険 安全環を確実に締めた事を確認してください。（締めないで使用すると危険です）

4 ロープの巻いてあるリールを投下します。

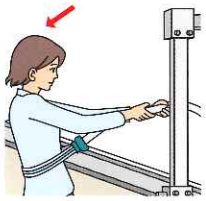
注意 地上に人がいない事を確認して投下してください。

■各部の名称



5 着用具を頭からかぶり、右図のように胴部に装着してください。

危険 誤って長いロープ側の着用具を装着すると墜落する危険があります。



6 地上に投下しているロープと、装着した着用具側のロープを２本同時にしっかりと手で握った状態で外に出てください。

D2型（床付用）使用方法

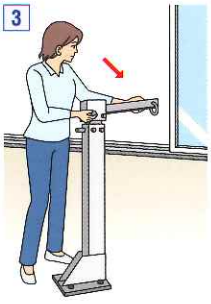
●屋外用 BOX の両側面のラッチ錠を開放してカバーを取り外します。各種、屋外用 BOX は同じ操作方法で取り外します。

1

●カバーを取り外します。

2

3



●吊環を持って、アームを外に倒すように引上げます。

4

●両手で取手を持ち、ストッパーが作動するまで支柱を引上げます。

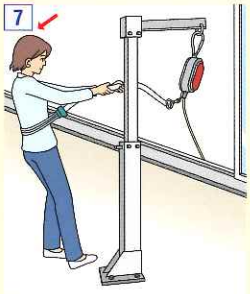
5

●調速器のフックを吊環に掛け、安全環を確実に締めて確認します。

6

●ロープの巻いてあるリールを外に投下します。

7



●着用具を胴部に着用し、ベルトを両手で持ち身体を後ろに倒すと、ベルトが締まります。

8

9

●2本のロープを持って外へ出て、身体を壁面に向けてロープを離して降下します。

10

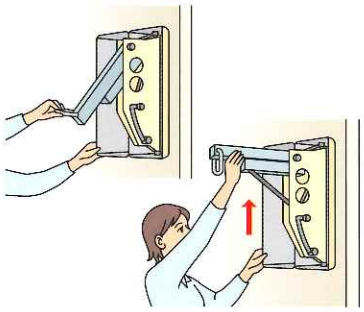
●着地したら、上で待っている人のために素早く着用具を外し、安全な場所へ避難してください。

■各種取付金具使用方法

●取付金具が設置されている場所と機種を確認してください。
●各機種とも絵図の説明後は、「D2型」使用例「5～10」の操作手順で行ってください。

B型

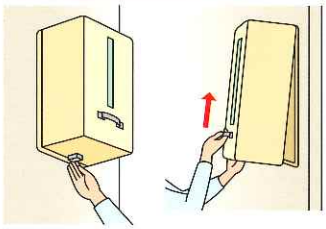
●BOXのラッチ錠を外し、カバーを開けます。



●アームの先端を持ちストッパーが作動するまで持ち上げます。

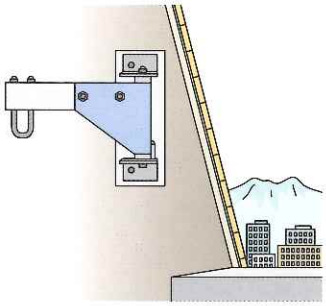
●アームの先端を外に向けて、ストッパーが作動するまで回転します。
以後は、「D2型」の操作手順で行ってください。

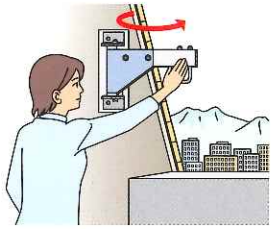
B型（ケンドン式）



●持ち上げるように手前に引上げてカバーを外します。
以後は、「B型」と「D2型」の操作手順で行ってください。

C型





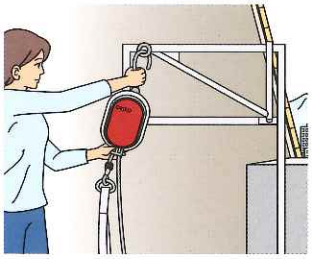
●アームの先端を外に向けて、ストッパーが作動するまで回転します。
以後は、「D2型」の操作手順で行ってください。

LE型

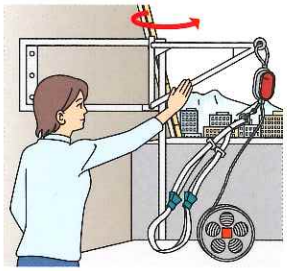
●調速器のフックを吊環に掛け、安全環を確実に締めて確認します。
以後は「D2型」の操作手順で行ってください。

屋外（固定式）

屋外（回転式）

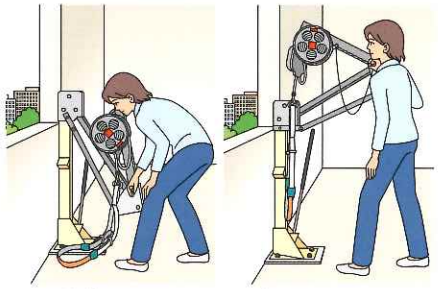


●調速器のフックを吊環に掛け、安全環を確実に締めて確認します。



●アームの先端を外に向けて、ストッパーが作動するまで回転します。
以後は、「D2型」の操作手順で行ってください。

D1型（一動作式）

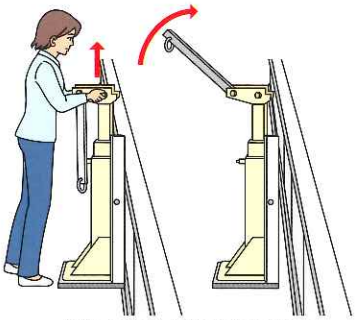


●取手を持ち、ストッパーが作動するまで持ち上げます。連動してアームと調速器が外に出ます。

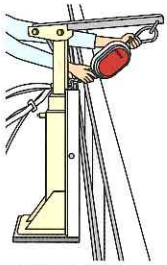
●チェーンを手前に引きます。リールが降下します。
以後は、「D2型」の操作手順で行ってください。

DA型

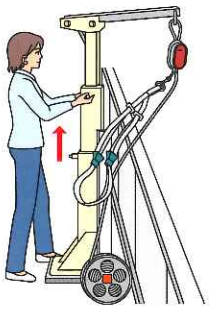
●屋外のBOX両側面のラッチ錠を開放してカバーを取り外します。



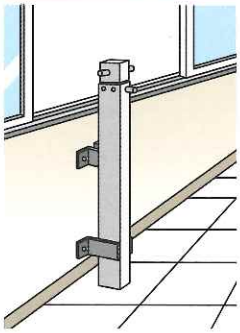
●一段目の支柱の取手を両手で持ち、ストッパーが作動するまで引上げます。



●調速器を吊環に掛け、安全環を確実に締めて確認します。



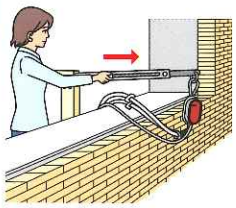
●二段目の支柱の取手を両手で持ち、ストッパーが作動するまで引上げます。
以後は、「D2型」の操作手順で行ってください。



壁付用

操作方法は、各機種と同じ操作手順で行ってください。

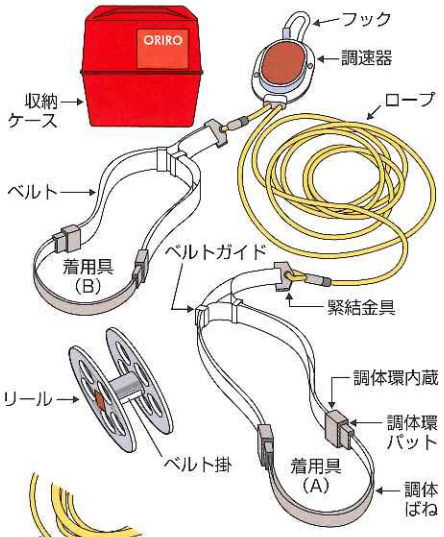
DS型



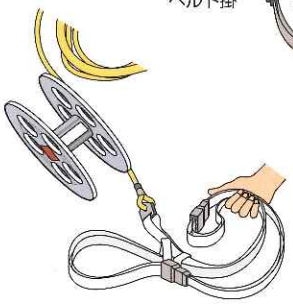
●操作は「DA型」と同じで、アーム部分がスライドします。スライドハンドルで、アームの先端を外に向けて押出します。
以後は、「D2型」の操作手順で行ってください。

ORIRO 緩降機 収納方法

1 ORIRO 緩降機の各名称を確認してください。

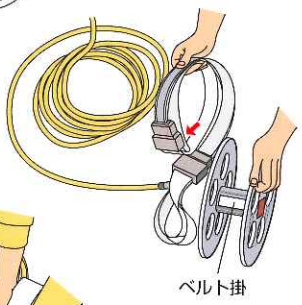


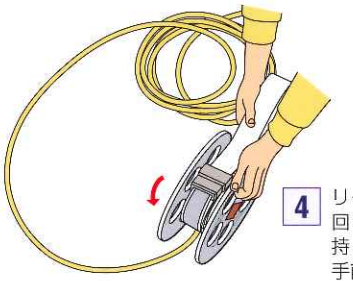
⚠ 注意 緊急時のために、正しく収納して保管してください。



2 着用具(A)のベルトの一部と、調体ばねの一部を重ねて図のように右手で握ります。

3 左手でリールを支えながら、リール芯のベルト掛に図の矢印部分を通します。





4 リールを矢印方向に回転しながら手に持っているベルトを手前に引き締めます。

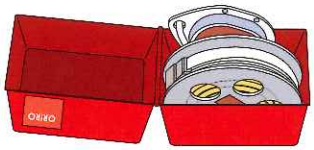
5 リールを矢印方向に回転しながらロープを手前に引き締めるように巻き付けます。

6 着用具(B)のベルト部と、調体ばね部を重ねて、ロープが巻き終わった上に押し込むように納めます。

7 最後のベルト部を締めるように持ちます。

8 調速器と合わせながら収納ケースに納めます。

9 蓋を閉めて一定の場所に保管してください。



このたびは、ORIROの緩降機をご利用いただきまして誠にありがとうございました。

- ご入居されましたら、まず緩降機が設置されている場所をご確認ください。
- お使いになる前に、この取扱説明書をよくお読みになり十分に理解してください。
- 万一に備えて、この取扱説明書は大切に保管してください。

取扱上の注意

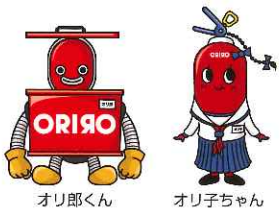
お使いになる人への危害を未然に防止するため、お守りいただくことを、説明します。
表示内容を無視して、誤った使い方をした時に生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

⚠ 危険 この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う危険が切迫して生じることが想定される」内容を示します。

⚠ 警告 この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容を示します。

⚠ 注意 この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物理的障害のみが発生する可能性が想定される」内容を示します。

予告なく変更する場合があります



オリ郎くん　オリ子ちゃん

●お問い合せは……

ORIRO 松本機工株式会社

http://www.oriro.co.jp　e-mail oriro@oriro.co.jp

東京本社	〒112-0001	東京都文京区白山4-25-6 TEL.03-3814-7744　FAX.03-3813-2909
札幌営業所	〒060-0008	札幌市中央区北8条西24丁目1番3号 TEL.011-640-7744　FAX.011-615-8299
東北営業所	〒981-0932	仙台市青葉区木町6-14　サン・レオ101号 TEL.022-207-7744　FAX.022-205-7887
新潟営業所	〒959-0227	新潟県燕市粟生津山王724 TEL.0256-92-7744　FAX.0256-92-4949
埼玉営業所	〒355-0324	埼玉県比企郡小川町青山745 TEL.0493-72-7744　FAX.0493-74-1445
横浜営業所	〒231-0028	横浜市中区翁町2-7-6 TEL.045-663-7744　FAX.045-663-7746
名古屋営業所	〒453-0015	名古屋市中村区椿町19-7 TEL.052-452-7744　FAX.052-451-3506
大阪営業所	〒552-0007	大阪市港区弁天2-14-24 TEL.06-6572-7744　FAX.06-6574-2994
九州営業所	〒815-0031	福岡市南区清水3-9-21 TEL.092-551-7744　FAX.092-511-6555
埼玉工場	〒355-0324	埼玉県比企郡小川町青山745 TEL.0493-72-7744　FAX.0493-74-0869
新潟工場	〒959-0227	新潟県燕市粟生津山王724 TEL.0256-92-7744　FAX.0256-92-4949